

飲食

安心安全な保存料

発明の名称	イットリウムを含むミネラルを用いた安心安全な保存料		
出願人/権利人	堀泰典;堀元英;堀敏子	発明者	堀 泰典、堀 敏子、堀 元英、堀 綾花、堀口 輝美、佐藤 勝、五十嵐 郷子
出願日	平成23年9月30日	出願番号	2011-218223
公開番号	2013-74864	特許番号	6161099
法的状態	登録中		

代表図(図面がないため請求項1を記載)

ミネラル分として、

イットリウム0.001～3.5質量%、硫黄9.0～99.969質量%、鉄0.01～20.0質量%、カルシウム0.01～20.0質量%、マグネシウム0.01～20.0質量%、マンガン0.01%～5.00質量%、亜鉛0.01%～5.00質量%、ニッケル0.01%～5.00質量%、カリウム0.01%～5.00質量%、ケイ素0.01%～5.00質量%、銅0.001%～3.50質量%、コバルト0.001%～3.50質量%、リン0.001%～3.50質量%、ナトリウム0.001%～3.50質量%及びクロム0.001%～3.50質量%

を含有する保存料を0.000001質量%～10質量%含有させることを特徴とする食品の保存方法。

発明の概要

長期にわたって大量摂取しても安心安全なミネラルを用いた保存料を提供。

特徴

植物性ミネラルは毒性が低く、ほど良い安定性と脂溶性をもち防腐作用に優れているが、昨今の農作物はミネラル含有量が少なく、それで作られる加工食品もミネラル不足になり、保存料としての効果もそれに伴い低下している。

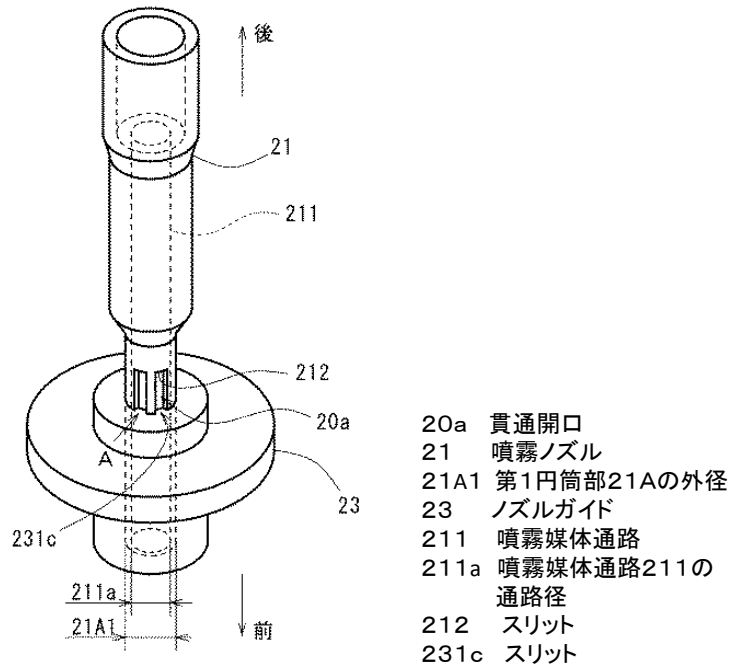
本発明は長期にわたって大量摂取しても安心安全な保存料を提供することが目的であり、現代人のミネラル不足を補うためイットリウム含み、少なくとも硫黄、鉄、マグネシウム、及び、カルシウム、その他ミネラル成分から構成される安心安全な保存料である。

関連分野

医薬、ケミカル

発明の名称	ナノ粒子含有スラリー噴霧装置及び溶射装置		
出願人/権利人	株式会社セイワマシン	発明者	横山 秀次、藤野 圭司
出願日	平成25年4月22日	出願番号	2013-89569
公開番号	2014-213214	特許番号	6161943
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

ナノ粒子含有スラリーを噴霧する噴霧装置及び噴霧装置を備えた溶射装置。

特徴

噴出管内に露出したナノ粒子含有スラリーは、先端側と基端側部分において、キャリアガスから受けるせん断力が異なっている。そのため、ナノ粒子含有スラリーから生じるミストは、粒径及びその分布が不均一となり、噴霧装置では、溶射皮膜中にボイドやクラック等の欠陥が生じる可能性があった。

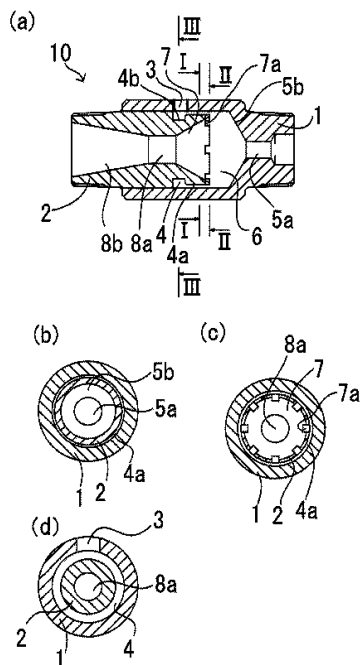
本発明は、ナノ粒子含有スラリーを生成するミストが均一な粒径を有し、且つ、均一に分布しているようにミスト化して噴霧でき、ミストの粒径を調整できる、ナノ粒子含有スラリーの噴霧装置を提供する。

関連分野

ケミカル、飲食、ガラス・セラミック、金属原料、電子部品・素子

発明の名称	ループ流式バブル発生ノズル		
出願人/権利人	有限会社オーケー・エンジニアリング	発明者	松永 大、松永 大介
出願日	平成26年4月11日	出願番号	2014-82085
公開番号	2015-202437	特許番号	6167321
法的状態	登録中		

代表図



- 1 有底部材
- 2 筒状部材
- 3 気体流入孔
- 4 気体供給室
- 4a 隙間
- 4b 溝部
- 5a 第1液体供給孔
- 5b 第2液体供給孔
- 6 気液ループ流式攪拌混合室
- 7 流入孔
- 7a 切欠き部
- 8a 第1噴出孔
- 8b 第2噴出孔
- 10 ループ流式バブル発生ノズル

発明の概要

ファインバブルを含むバブル(気泡)を発生させるループ流式バブル発生ノズル。

特徴

従来のバブル発生ノズルでは、不純物を比較的多く含む液体を用いてバブルの発生を行うと、ノズルにおいて、カルシウム又は微生物の死骸などの不純物や水垢が析出・付着する場合があった。この場合、気体供給室から気液ループ流式攪拌混合室への気体供給が阻害され、気体供給量が減少してしまうことがあり、バブル発生効率を徐々に低下させることがある。

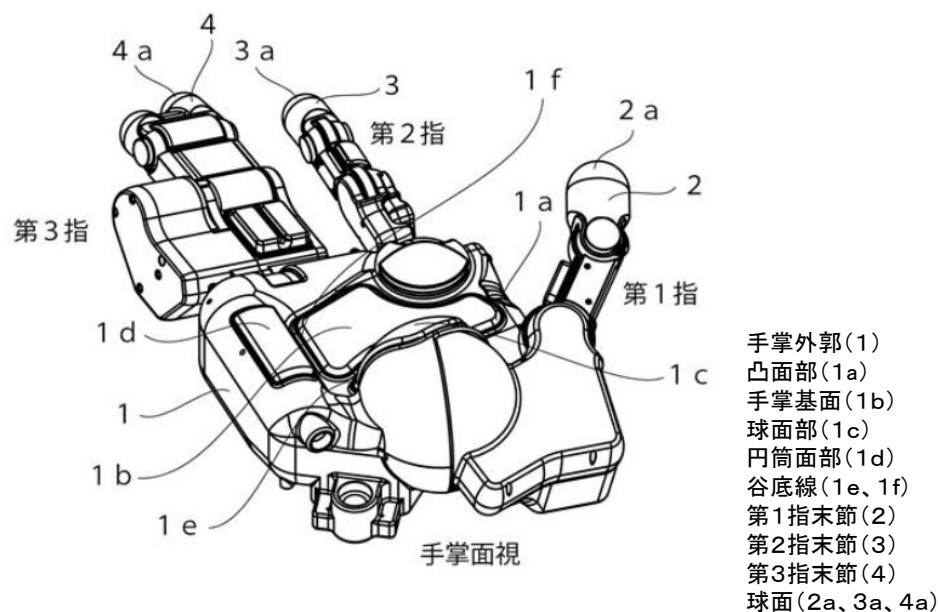
本発明では、不純物を含む液体を用いてもバブル発生効率を低下させることなく、また、バブル発生効率を従来よりも向上することが可能なループ流式バブル発生ノズルを提供する。

電気機械

ロボットハンド

発明の名称	ロボットハンドの外郭形状および把持方法		
出願人/権利人	村北ロボテクス株式会社	発明者	村北 卓也
出願日	平成27年12月28日	出願番号	2015-255780
公開番号	2017-119319	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

人型ロボットハンドに関し、把持位置計算が容易な外郭形状および把持方法の実現。

特徴

人の手は、柔軟に変形する皮膚で覆われている上に表面の形状が複雑を極めるため、手の位置と物体の位置との関係を定量的に評価することが難しい。さらに、樹脂や金属のような大変形をしない工業材料で、いかにその機能を実現するかという点に難しさがある。

本発明は、把持物体を、固定された谷型に押し付ける原理により、再現性の高い把持が可能になる。このとき、接触面の形状を球面や円筒面など、幾何学的な計算しやすい形状にしたことで、把持位置の計算が容易になり、事前に把持姿勢を定量的に評価することができる。

関連分野

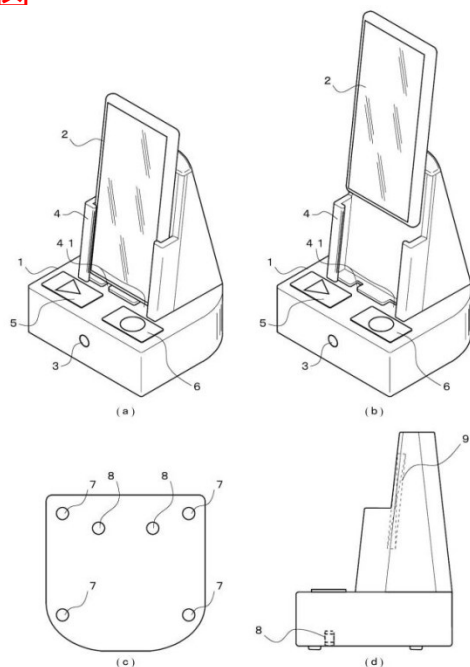
電子部品・素子、業務用機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、専門技術サービス

電気機械

駆動部が動くことにより通知を行う充電器

発明の名称	充電器		
出願人/権利人	日本圧着端子製造株式会社、ユカイ工学株式会社	発明者	牧田 克正、青木 俊介、池戸 憲夫、伊藤 伸朗
出願日	平成27年12月28日	出願番号	2015-256706
公開番号	2017-120988	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



- 1 充電器
- 2 携帯機器
- 3 赤外センサ(人体検出センサ)
- 4 保持部
- 5 再生スイッチ
- 6 録音スイッチ
- 7 脚部
- 8 駆動脚部
- 9 充電コイル
- 4.1 開放部

発明の概要

安否確認をより効果的に行なうための携帯機器用の充電器。

特徴

本発明は、通信機能を有する携帯機器を装着し、充電するための充電器である。携帯機器が装着されていないと判断される場合や、メッセージの着信があった場合に、通知を行なうことを特徴とする。従来は、光や音などによって通知を行なっていたが、視力や聴力が弱まった高齢者を対象にメッセージを送信した場合、対象が新着メッセージの受信通知に気付けない可能性がある。そのため、駆動部を用いて充電器を動かし、通知を行なうことで、より効果的に新着メッセージの通知等を行うことができる。これにより充電器への携帯機器の装着し忘れをより効果的に防止することができる。

関連分野

電子部品・素子、放送・通信、専門技術サービス、医療・保健衛生

発明の名称	気体分子吸蔵ナノ材料、ナノ材料組成物及びナノ材料組成物の製造方法		
出願人/権利人	株式会社大成化研	発明者	松原 賢政
出願日	平成28年1月15日	出願番号	2016-6321
公開番号	2017-124959	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図(図面がないため請求項1を記載)

炭素含有ナノ材料からなる母材と、
前記母材内に吸蔵された気体分子と
を含み、
前記気体分子の吸蔵量が前記母材100質量部
に対して1質量部以上である気体分子吸蔵ナノ材料。

発明の概要

気体分子が吸蔵された気体分子吸蔵ナノ材料、
ナノ材料組成物、ナノ材料組成物の製造方法。

特徴

本発明は、ナノ材料組成物及びナノ材料組成物の製造方法である。気体分子吸蔵ナノ材料は、炭素含有ナノ材料からなる母材と、母材内に吸蔵された気体分子とを含む。気体分子の吸蔵量が母材100質量部に対して1質量部以上の気体分子吸蔵ナノ材料であるため、大量の気体分子を必要とする用途に適用しても十分な量の気体分子を供給できる。母材として軽量かつサイズが小さい炭素含有ナノ材料を用いるため、水等の汎用的な分散媒に容易に分散させることができる。よって、流体として使用する用途等にも適用できるため、様々な用途への展開が可能となる。

関連分野

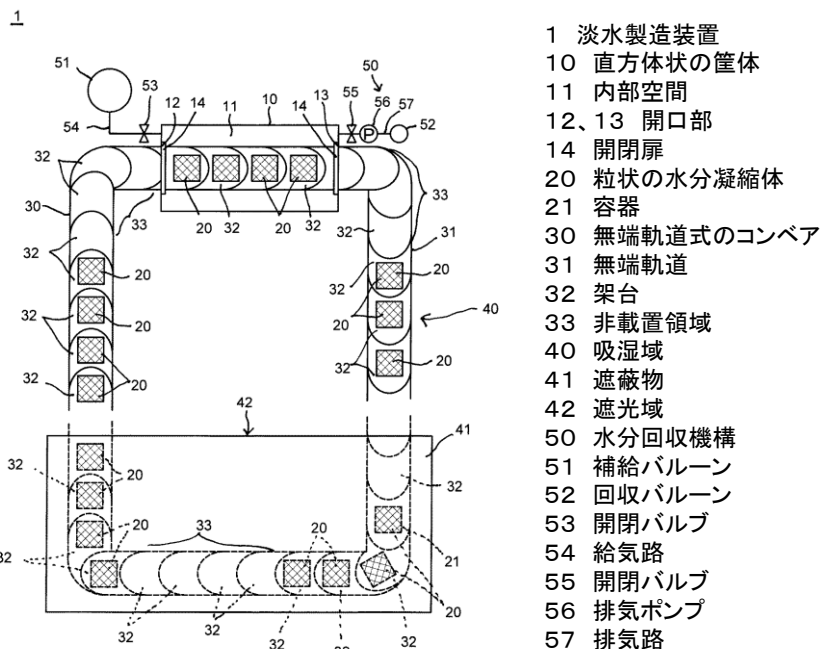
エネルギー、電子部品・素子、電気機械、業務用機械

業務用機械

淡水製造装置

発明の名称	淡水製造装置		
出願人/権利人	青木 一彦	発明者	青木 一彦
出願日	平成28年12月28日	出願番号	2016-255928
公開番号	—	特許番号	6159912
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

水分凝縮体の吸湿能力を最大限に活用し、効率良く空気中から淡水を回収するための装置。

特徴

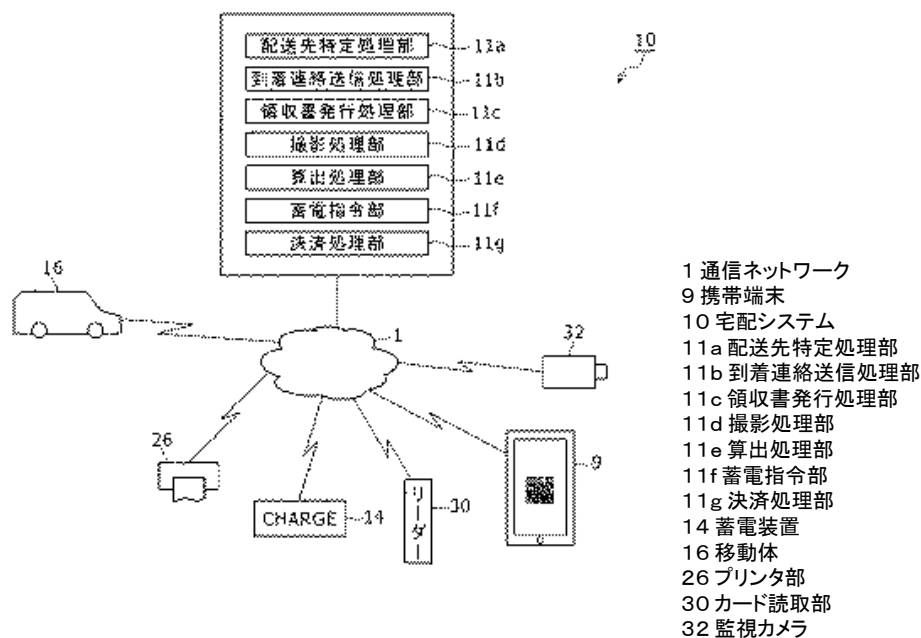
本発明は、ほぼ密閉された空間である筐体に、水分凝縮体を出し入れするための1以上の開口部を設けた。このため、水分凝縮体から水分を排出する空間と、水分凝縮体に水分を吸着させる空間を分離して、水分凝縮体と空気を接触させる吸湿時間を水分凝縮体から水分を排出させる排湿時間よりも長くすることができる。この結果、水分凝縮体への水分吸着量が増加し、昼間における淡水の回収量が増加する。また、水分を回収するための冷却時には、水分凝縮体を筐体外に取り出せるので、水分凝縮体への再吸着が防止され、得られる淡水量が増加する。

関連分野

農林水産、電気機械、建設・土木、医療・保健衛生

発明の名称	宅配システム		
出願人/権利人	LEGARE株式会社	発明者	山口 雄也
出願日	平成29年4月11日	出願番号	2017-77955
公開番号	—	特許番号	6164599
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

配送車が、宅配ボックスまで自動運転により荷物を配送する宅配システム。

特徴

本発明は、荷物を載せた配送車が自動運転で配送先の宅配ボックス部の場所まで移動して配達が行われる。これにより、再配達を無くして効率を高めつつ、人手による作業も削減することができる。配送先に対応する宅配ボックス部を特定する配送先特定部と、特定された宅配ボックス部が設置された場所に配送車が自動運転により荷物を配送する。車は、特定された宅配ボックス部に対応する開閉扉が開かれて露出した内部空間領域に向けて延伸し、宅配ボックス部に架設される延伸レール部と、延伸レール部を介して車により配送されてきた荷物を内部空間領域に収納する。

関連分野

業務用機械、陸上輸送機械、運輸サービス、専門技術サービス